



海南高等学校美里分校 マンスリータイムズ

分校の窓から

11/2021

11.5 美里分校 文化祭

11月5日（金）、本校体育館にて美里分校文化祭が行われました。今年のテーマは「未来につなげよう～新しい文化祭」。昨年に続き非公開での開催となり、生徒・教職員だけの文化祭となりましたが、コロナ禍の今でこそみんなで楽しめる文化祭を創りたいという想いを込めました。

開会式の校長先生の挨拶で幕が開き、続いて舞台発表が行われました。今年は模擬店の出店はありませんでしたが、舞台発表が充実し生徒の個性が溢れました。クラシックに合わせて指揮を振る「エア指揮者」や気象の知識を活かした天体クイズ、生徒会長による剣舞など、それぞれの興味・関心が表れた発表が続きました。

3年生はオリジナルのキャラクター・ストーリーによる動画作品制作に挑戦。一時は完成が危ぶまれたものの、最後は3年生らしい完成度の高い作品に仕上げ、楽しませてくれました。他にもダンス・パフォーマンスや和太鼓演奏、放送部作品などバラエティに飛んだ発表が続き、教員も参加した有志ステージでは客席にいた生徒が飛び入りで歌い出すなど会場は大いに盛り上がりしました。

展示発表では、体育館壁面に芸術科や家庭科など各教科の授業作品や美術部の作品が並べられました。生徒が地域の題材を取材・調査してまとめた「公民社会」の展示や、国語科の生徒の表現力が溢れた創作詩など、それぞれの科目やクラブの特徴が感じられる興味深い内容でした。

舞台発表の後は、恒例のビンゴ大会や昨年に続いて行われたウォークラリーを楽しみ、午後は映画を鑑賞して文化祭が終わりました。

新型コロナによる様々な制約がある中で、生徒と教員が工夫を凝らして開いた文化祭。テーマのとおり、みんなが楽しめる新しい文化祭を創りあげることができました。

美里分校文化祭はコロナ前までは地域に開放され、地元の方々と交流できる大切な学校行事でした。しかし、今はそうした場をつくることも難しい状況となり、地域に根ざした教育活動を展開する美里分校にとっては大きな課題となっています。コロナを経て、今後どのような文化祭を創っていくのか。創意工夫を重ねながら新しい形を探っていきたいと考えています。困難を克服するための知恵や工夫こそが新たな文化の源泉となるはずです。





近畿高等学校総合文化祭での演奏の様子

10.30 第 16 回 紀美野町文化祭

10月30日（土）、紀美野町文化センターみさとホールにおいて、紀美野町文化祭児童生徒発表会が開催されました。町内の小中学校や児童合唱団など9団体が参加し、本校太鼓部もオープニング・アクトとして『森の力

タルシス』『長峰』の2曲を披露しました。太鼓部にとって久しぶりのイベント参加でしたが、コロナ前までは生石高原の山開きなどの地域イベントや養護施設での演奏など、太鼓部は分校の地域交流の要として役割を果

たしてきました。コロナの終息は未だ見通せない状況ですが、こうした機会があれば今後も地域の一員として積極的に参加していきたいと思います。

11.13 第 41 回近畿高等学校総合文化祭

11月13日（土）、第41回近畿高等学校総合文化祭郷土芸能部門大会が滋賀県甲賀市あいこうか市民ホールで行われ、近畿2府4県に福井、三重、鳥取、徳島を加えた10府県から11団体が出場しました。

太鼓部の演奏曲は『朝焼け』。技術指導をしてくださっている和太鼓奏者の山本良子先

生が作曲した楽曲で、これまで幾度となく演奏してきました。当日は卒業生も会場に駆けつけアドバイスをしてくれたり、直前まで部員同士で打ち合わせを重ねたりするなど、万全の準備をして本番に臨みました。

本番は日頃の練習の成果を出し切った満足できる内容でしたが、演奏を通じて見つけた

新たな課題や本番後に大会講師から助言をいただくなど、収穫のある大会となりました。

来年度の近畿高等学校総合文化祭は和歌山県での開催が予定され、本校太鼓部の出場が決まっています。そこでより高いレベルの演奏を披露できるよう、今回の経験を活かしながら練習に励んでいきたいと思います。



11.19 マラソン大会

11月19日（金）、気持ちの良い秋晴れの中、保健体育科主催の校内マラソン大会が行われました。男子6名、女子7名が参加し、正午の号砲とともに一斉に分校グラウンドをスタートしました。

永宝橋から国道370号線を長谷宮方面に

向かって走り、男子は熊坂トンネルを越えた先で、女子はトンネルの手前で折り返す、男子6.5km、女子4.5kmのコースでタイムを競いました。

途中苦しそうな表情を見せる生徒もいましたが、それぞれが自分のペースで走り抜き、

全員制限時間内にゴールすることができました。今年は男女ともに1年生が1位を獲得し、フレッシュな活躍を見せてくれました。

分校周辺の豊かな自然と、ゴール後の生徒の晴々とした表情が印象に残る1日でした。

